

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	安田 直己	楽しく学ぶドイツ語（三修社）
必 履 修 学校必履修 必修選択 ○自由選択		

◆学習の目標

ドイツ語の学習を通して、英米人とは異なったものの見方、考え方、生活様式を知ることによって、物事を見つめ考える視野を広げる。

◆主な学習内容・方法

- (1) 文の構造 — 主文と副文によって異なる動詞の位置
 - (2) 動詞、名詞、形容詞などの変化
- 以上の事柄が実際の文章でどのように現れているかを体得する。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

〔到達目標〕

- 〔標準〕・正しい発音でドイツ文を音読できる。
 ・文法力を用いて平易なドイツ文を読み解くことができる。
- 〔応用〕・授業で身に付けた基礎的な文法力を駆使して、日常的な事柄や自分の考えをドイツ語で発信できる。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

文法力を活用して平易なドイツ文を読んだり、書いたり、口頭で発信できる。

○思考・判断・表現

物事をドイツ語で表現する際に、その時々ケースに応じて相応しい文章を組み立てて表現できる。

○主体的に学習に取り組む態度

授業、復習に主体的に取り組む、各自の解らないところを明確にして授業中に質問したり発言したりできる。

◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）	2学期（28時間）	3学期（16時間）
------	------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習・復習をしっかりとやって授業に臨もう。
- ・その際に、CDをよく聴いてドイツ文を何度も音読しよう。
- ・特に、復習の際には、感情移入してドイツ文を繰り返し音読しよう。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	Lektion 0 発音	3	1 「母親は <u>息子</u> の先生に手紙を書く」の下線部の表現法	① ドイツ語の発音が正しくできる。 ② 名詞は定冠詞をつけて覚え、表現できる。 ③ 変化形は何度も声に出して覚え、表現できる。
		Lektion 1 動詞の現在人称	4	2 動詞が主語によって変化する こと	
	5	Lektion 2 名詞と冠詞	4	3 冠詞類の格変化	
	6	Lektion 3 不規則動詞	5	4 人称代名詞の格変化	
	7	Lektion 4 前置詞	6	5 前置詞と名詞の結びつき	
2 学期		Lektion 5 冠詞類	4		
	8	Lektion 6 形容詞	5	1 現在完了、未来形	① 前置詞の格支配を理解できる。 ② 英語と異なる現在完了の用法が理解できる。 ③ 動詞の位置に注目し、表現できる。 ④ 名詞の前に置かれた形容詞の形を理解し、表現できる。 ⑤ 分離動詞を使いこなすことができる。 ⑥ zu 不定形の用法を使いこなすことができる。
		Lektion 7 分離動詞	6	2 助動詞構文	
	9	Lektion 8 話法の助動詞	6	3 主文と副文	
	10	Lektion 9 動詞の3基本形	6	4 「 <u>小さな</u> 子供」などの下線部形容詞の形	
	11	Lektion 10 現在完了	5	5 分離動詞	
3 学期	1	Lektion 11 再帰動詞	4	6 zu 不定詞	
		Lektion 12 関係代名詞	4	1 非人称動詞	① 再帰代名詞と人称代名詞が区別できる。 ② 関係文中での動詞の位置が理解できる。 ③ 特に日常よく用いられる非現実話法を使いこなすことができる。
	2	Lektion 13 受動態	4	2 再帰動詞	
		Lektion 14 接続法	4	3 受動態	
	3			4 関係代名詞	